

● 法人概要

法人名 社会福祉法人 京都杉の木会 (1988年創立)

施設名 京北やまぐにの郷

設立 1989年(平成元年)6月

基本理念 ①基本的人権の尊重と個人の尊厳を保持し、幸福追求を図る
②専門的な療育と支援を行い、地域社会との共生を実現する
③障がいについての社会的理解と地域福祉活動の推進に努める

事業内容 障害者支援施設
施設入所支援、生活介護、短期入所、相談支援

従業員数 31名(2024年10月現在)

沿革 1983年(昭和58年)10月 「京都自閉症者の施設を造る会」が結成され、施設づくりの活動を始める
1988年(昭和63年)9月 「社会福祉法人京都杉の木会」の創立について京都府知事認可
1989年(平成元年)6月 「京北やまぐにの郷」の開所
1997年(平成9年)3月 地域交流ホームの竣工
1999年(平成11年)12月 通所部開設(現生活介護事業所)
2012年(平成24年)3月 障害者自立支援法に基づく新事業体系へ移行
※ 2013年(平成25年)4月 障害者総合支援法施行
2015年(平成27年)4月 計画相談支援事業開設
2024年(令和6年)3月 京北やまぐにの郷の定員を40名に変更

● アクセス

自動車でお越しの方

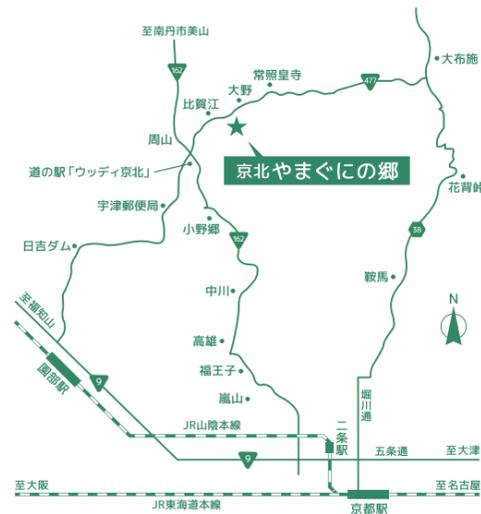
国道162号線から福王寺の交差点を小浜方面へ向かい、約40分で周山に到着します。
周山の交差点を右折し、花背方面へ10分ほど行くと最玄寺のバス停があり
バス停を右折し、橋を渡ると左手に大きな京北やまぐにの郷の看板がございます。

園部駅 車で約45分 京北やまぐにの郷
京都市 車で約60分 京北やまぐにの郷

JRバスでお越しの方

京都駅より周山行きのバス(高雄・京北線)が出ており、
1時間10分で周山バス停留所に到着します。
周山停留所から京北ふるさとバス(山国・小塩線、山国・黒田線)のご利用
もしくはタクシーにお乗りください。

西日本JRバス 京北ふるさとバス 徒歩 約5分
京都駅 周山駅 最玄寺駅 京北やまぐにの郷



社会福祉法人 京都杉の木会
京北やまぐにの郷

〒601-0314
京都市右京区京北大野町菖蒲ヶ回互 10-2
TEL 075-853-0571
FAX 075-853-0372
MAIL keihoku802310@yacht.ocn.ne.jp



施設入所支援

生活介護

短期入所

相談支援

社会福祉法人 京都杉の木会 京北やまぐにの郷



かけがえのない人生のために



法人が大切にしている3つのこと

その1

双方の可能性を信じる

『利用者』と『職員』双方の可能性を信じて支援にあたります。利用者の成長の可能性を広げることはもちろん、職員の成長を促進していくことに注力しております。利用者に対して、一方的な支援ではなく互いに成長しあう支援を目指します。試行錯誤を繰り返しながら、利用者が腑に落ちる、納得した自己決定を行えるように支援をしていきたいと考えておりますし、試行錯誤の中から生まれる気づきを職員には大切にしていほしいと考えております。

その2

地域社会との共生と地域貢献

当法人は旧京北町の中心に近い山国(やまぐに)地域に施設を構えております。施設開設当初から地域住民の方の理解を得た施設運営に取り組んでおり、地域や社会福祉協議会の行事ごとへの参加、講師派遣を行っております。また法人設立35周年を機に広報誌を再スタートし、利用者様の笑顔を中心に地域の皆様との交流・共生を充実させていきたいと考えております。

その3

『清潔を常とする』姿勢

施設内外を清潔にするといったことはもちろん、利用者を大切にするという原理原則をこの言葉に込めております。利用者方はもちろん、施設環境から備品に至るまで清潔に保つことこそが尊厳の保持に値するとの考えです。当たり前のことを当たり前に行っていくことを重要視しております。



共感

ともに感じて

支援の柱

共汗

ともに汗をかき

共歓

ともに歓ぶ暮らしを
享受する

この支援の柱は施設長を中心に施設開設以来、最も大切にしているものです。利用者・職員さらに地域住民が共に感じて、共に汗を流して協力して取り組んだ先に、共に歓びを享受することを柱としています。全てにおいて『共に』という言葉大切にあり、法人の基本理念でもある、基本的な人権の尊重と個人の尊厳を保持し、幸福の追求を図る。専門的な療育と支援を行い、地域社会との共生を実現するために様々な取り組みを行い、障がいについての社会的理解と地域福祉活動の推進に努めてまいります。

理事長挨拶

～かけがえのない人生のために～

当法人は1989年(平成元年)の開設以来、四半世紀を超えて自閉スペクトラム症の方を中心に健康で健やかに過ごして頂くための施設として地域と共に歩んでまいりました。今後は、包括的なサポート体制に向け、地域との共生に取り組み、ご利用者、地域住民、当職員を含めた皆様から愛される法人運営に努めてまいります。

理事長 寺本 眞澄



利用者様と職員の日常風景



作業の様子

職住分離を基本に、作業棟で様々な作業を行います。



音楽療法の様子

作業や行事の他にも、音楽療法やハイキングでリフレッシュします。



食事の様子

管理栄養士によって栄養バランスの取れた献立を作成、療養食対応も配慮しています。